

スワンのアルト ● 小澤法子

茶緑のボロをしてゐる馬車馬のくつろぐまみに雨ふりはじむ
 城行きのバス待ち列をうつ雷雨ルードヴィヒ命日の二日前
 廻廊の黄金調度のかげふかみ売店の棚さやかに青し
 星形のシシイの銀の髪飾り贈りたきひと髪短くて
 錐体の腕さしひろげ頭たれ樹ぎわれさきに語りかけくる
 ひたひたとわれを見返す想念を湖といふ 風のおそび場
 湖の上^{みづ}におほいそぎの雲たれこめてふたつみつスワン吐きゆく
 潰^{つぶ}えたる夢のころもに添ひ寝して美王は聴きぬスワンのアルト
 エンドロール葦のみぎはに雨うたれあふむけの画面いつばいの死
 みづぎはのあふむけの死のつめたくて口すこしあけ魂^{たま}をのがせり
 黒^{ヨハネ}すぐりの実^{スベ}の炭酸水^{シヨレ}を口にふくみルードヴィヒの虫歯の色おもふ
 たましひは湖^{みづ}をめぐりぬ漣はひかりもとむる無数のてのひら
 雨あがりのみどりのしづく撥ねちらし二頭馬車のひづめの快音
 丘陵をおもひの帯のながれゆく雲のかげぬけ村から森へ
 あやとりの紐のかたち^にに動きける国境見えず 牛が寝てゐる

(注) 一首目の「ボロ」＝馬糞